

## みんながいたからがんばれた

水がのみたいな のどがかわいたな

でも水道から水はでない

ジュースもむぎ茶もない

ぼくの水とうに水がちょっぴり

「ぼくにもちょうだい。」

友だちが言っている

「いいよ ちょっとずつ分けようね。」

ごくり

すぐまたのどがかわいたよ

おなかすいたな 何か食べたいな

でもごはんもパンもない

おせんべい 1まいをみんなで分けた

バリン

おなかいっぱいにならないや

うちに帰りたいな

でも帰れない

外は水でいっぱい

学校のじ<sup>どう</sup>童クラブの子どもたち

ひなんしてきた人が百人

ぎゅっ

手をつよくにぎってがまんしたよ

しんさいの夜

音楽室でみんなとすごした

遠くの空が赤くもえる

夜なのに

い<sup>し</sup>のま<sup>き</sup> 石巻の空はま<sup>か</sup>っ赤だ

た<sup>もの</sup>て物からほのおが上<sup>が</sup>って

ほのおは黒い黒い水をてらす

今も思い出す あの夜

みんなで分けた水やおやつ

みんなでいたから

がんばれた あの夜



(作文宮城 60号 特別編「あの日の子どもたち」より)